



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
【重点目標】自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年8月26日（金）
 第18号
 発行責任者
 校長 志賀 嘉津美
 電話 22-3802

全国学力・学習状況調査結果！

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（対象：3学年）については、本校のホームページからお知らせしております。学力調査については、国語・数学・理科ともに全国平均を上回る結果となりました。このことは、各授業でのタブレット PC 等の ICT の効果的な活用や、他の生徒と意見を交換しての話し合い活動による協働的な学習の成果ととらえています。

なお、各ご家庭には「毎日決まった時間に落ち着いて学習や読書をする環境づくり」や「携帯電話・スマートフォンを持たせる際の使用時間や利用法などの約束事」についてお願いをしております。1・2年生の皆さんについても同様です。更なる学力向上に向けて、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

【原町三生（3年生）の強み】

- 全員が「読書が好き」と回答しています。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか？」には88%の生徒が、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか？」には94%の生徒が「はい」と答えています。

【今後心がけていきたいこと】

- 「自分にはよいところがあると思いますか？」に、「はい」と答えた生徒が58%でした。
- ・「今の自分」をしっかりと理解し、「やりたいこと」、「やれること」を実行に移してはどうでしょうか。そして、「やろうとした自分や」、「できた自分」を褒めて自分に自信を持つてほしいと思います。

相馬地方中学校英語弁論大会 標記大会が、8月26日（木）に相馬市民会館で開催されました。本校からは、後藤さん（3年）が「暗唱の部」に、緑川さん（3年）が「創作の部」に出場しました。2人とも、夏休み中、計画的にスピーチの練習に取り組んでいました。

後藤さんは「A Graduation Gift from Steve Jobs」という演題で、アップル社創業者のステイブ・ジョブズ氏が、2005年6月、アメリカのスタンフォード大学の卒業式に出席した時のスピーチを再現しました。「ハングリーであれ。愚かであれ（Stay hungry, Stay foolish）」のフレーズで知られることとなった有名なスピーチです。

緑川さんは、「Human Right Violation」という演題で、国語の授業で調べたインターネットによる人権侵害をテーマにインターネットの望ましい活用の仕方について自分の考えを発表しました。

弁論大会を通じて英語で表現する楽しさを覚え、もっと話せるようになりたいと感じたら、それは次へのステップに繋がります。ステージ上の緊張感が、大勢の前で英語でスピーチした経験が今後必ず生きてくるはずです。



第67回福島県たなばた展 書写の課題は1年生が「新緑」、2年生が「納涼」、3年生が「黒潮」でした。63名の生徒が応募し、10名が特選をいただきました。

- 【特選】 齊藤さん（3年）、佐藤さん（3年）、渡邊さん（3年）、遠藤さん（2年）
 三瓶さん（2年）、鈴木さん（2年）、山田さん（2年）、後藤さん（1年）
 齊藤さん（1年）、宮寺さん（1年）

納涼

廃品回収

明日（27日：土）は、総務委員会主催の廃品回収が行われます。詳細につきましては、令和4年7月19日付の通知をご覧ください。天候が心配ではありますが、PTA会員皆様のご協力をお願いいたします。